

令和7年度 学生FD CHAmmiT 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生FD CHAmmiT（令和7年9月14日(日)開催）後に改善した意見

学生からの意見（学部・学科の問題点）		改善内容
①	建物の設備充実・環境改善（体育館への空調設備導入、製図室の環境向上、個人用ロッカーや傘立ての設置など）	学生からの率直な要望を大学の環境整備における重要な課題として受理いたしました。いずれの要望も、多額の予算措置や設置スペースの確保及び検討が必要となるため、今後の施設整備計画を検討する上での基礎資料として検討を進めていきます。
②	学生自身の学習スタイルに合わせて、より主体的に学ぶ教員や科目を選択できる仕組みづくり	学生一人ひとりのニーズに応じた教員および科目の選択に関する要望として認識いたしました。本件は教育体制の抜本的な見直しに関わるため、今後のより良いカリキュラムのあり方を検討するための重要な参考意見として取り扱ってまいります。また、時間割表等のシステム化を進めることで、学生一人ひとりが自身の履修計画を立てやすい環境を整備いたします。 あわせてシラバスの刷新も行い、授業日時や教室等を詳細に明記することで、学生がより主体的に科目を選択しやすい体制へと改善を図ります。
③	編入に関する情報交換の機会として、各学科間や1年生と2年生との交流の機会がほしい。	交流イベントの企画や理工学部のカンファレンスへの参加を勧める等の対応とともに、学生の皆さんが参加しやすい時間の確保や、継続的な運営・管理体制（管理者の設置等）といった課題の整理を進めています。今後も学生の進路実現へのモチベーション向上や、より良い履修計画の作成を後押しできる環境づくりに向けて検討を続けてまいります。